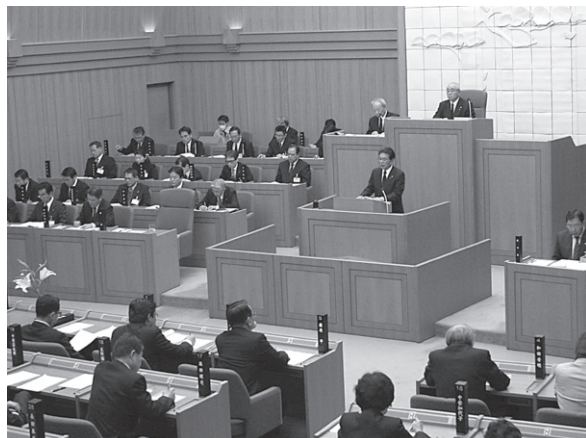


# 平成23年3月定例会



## 福島市議会

### 被災地へ災害見舞金を送る

3月11日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震により犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表すとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

本市議会といたしましても、被災された方々を少しでも支援させていたたくため、全国市議会議長会を通じて、議員全員で災害見舞金50万円をお送りすることといたしました。

被災地の日も早い復興を願っています。

## 請願の審議結果

議会に提出された請願の審議結果をお知らせします。

- ◆「子育てするなら福山で」にするため現行保育制度を守り  
拡充することを求める要望について (不採択)
- ◆子どもの医療費助成の拡大を求める要望について (不採択)

平成23年第2回定例会は、3月1日から3月24日までの会期24日間で開かれました。

総額1億685億6300万円の平成23年度一般会計当初予算案など44件の議案を原案どおり可決しました。このほか、固定資産評価審査委員会の委員の選任について同意し、また、議員提出の市議会委員会条例の一部改正案など2件についても可決しました。なお、請願4件のうち2件は不採択、残る2件は継続審査となりました。

この定例会では、各会派を代表して議員6人と、無所属の議員のうち1人が市政全般について質問しました。その概要は、次のとおりです。

## ※質問および答弁(要旨)

### 水曜日



早川 佳行 議員

### 国民健康保険税の引き上げと今後の事業運営は

**問** ①新年度予算で国保税の引き上げ案が示されたが、その理由は。②今後の事業運営に当たっての考えは。

**答** ①一人当たりの保険税について、後期高齢者支援金課税額と

介護納付金課税額は、全国一律の国の基準に従い引き上げたが、基礎課税額は、社会経済状況を踏まえ、財政調整基金や一般会計から3億9000万円余の財源を充当し22年度と同額とした。②財政調整基金は、保険税抑制などのため1億6900万円余を取り崩す予定で、23年度末の残高は1億9800万円程度と見込まれ、国保事業の財政運営は非常に厳しい状況にある。また、一般会計からの繰り入れも、22年度に引き続き特別の繰り入れを行っているが、国保制度は被保険者の相互扶助を制度の根幹とすること、また市民負担の公平性の確保の観点からも、今後も慎重に判断する必要がある。

#### ◆関連質問

- ・国民健康保険事業について (明政会)
- ・国民健康保険制度について (公明党)

### 市民病院の今後は

**問** 市民病院の収支状況はここ2年間は単年度黒字で評価できているが、西館増築後5年間は厳